



# レジメンと主な副作用の指導内容

## ☆治療スケジュール (Pola-CHP)

下記の治療を3週間毎に繰り返します。

薬品名	用法	用量	/	/	/	/	/
グラニセトロンバッグ (吐き気予防) プレドニン	点滴 30分	3 mg/袋 【100mg】 mg	○				
プレドニン錠 5mg 	内服	朝錠 昼錠 【100mg/日】		○	○	○	○
ポライビー	点滴 ※	【1.8mg/kg】 mg	○				
ドキシソルピシン	点滴 30分	【50mg/m <sup>2</sup> 】 mg	○				
エンドキサン	点滴 2時間	【750mg/m <sup>2</sup> 】 mg	○				

ポライビー 開始30分前に内服	 ロキソプロフェン (解熱鎮痛剤)	 エピナスチン (抗アレルギー剤)
--------------------	---	---

※ポライビー  
初回は1時間30分で投与。  
初回で注射時反応の症状がなければ、2回目以降は30分で投与します。

## ☆注意事項

※現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。  
※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。  
※特に点滴のある日は、無理のない程度に水分の摂取を心掛けてください。  
※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。

## ☆副作用について

- 腫瘍崩壊症候群 (当日～)  
急激な細胞の崩壊により腎障害などをきたすことがあります。
- 注射時反応 (ポライビー点滴中)  
投与開始時や点滴速度を速めると、発熱、悪寒、頭痛、咳、痒み、発疹、虚脱感などが発現することがあります。多くの場合、点滴速度を遅くすることで軽快します。予防のために、点滴開始30分前にロキソプロフェンとエピナスチンの内服を行います。
- 吐き気 (当日～) ●味覚異常、臭覚過敏 (当日～)
- 便秘 (当日～) ●不眠
- 尿の着色 (当日～)  
ドキシソルピシンにより尿が赤くなる場合があります。
- 手足のしびれ (回数を重ねるとおこりやすい)
- 口内炎 (1～2週間ごろ)  
普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。
- 下痢  
腹痛や1日4回以上の下痢、水様便、夜中に下痢が継続する場合はお知らせください。
- 脱毛 (2週間ごろ～)  
投与終了後は再び生えてきます。頭皮を清潔に保ちましょう。
- 心機能障害  
適宜、心機能検査を行います。  
動機、息苦しさ、咳、むくみなどが現れた場合はすぐに連絡してください。
- 肝機能障害  
適宜、肝機能検査を行います。
- 白質脳症  
歩行時のふらつき、口のもつれや物忘れ、意識がもうろうとするなどの症状が現れた場合はお知らせください。
- 骨髄抑制 (1～2週間ごろ)  
白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。  
→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。値によっては増やす薬を使用することがあります。  
→赤血球減少時は貧血症状が起りやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。  
赤血球・血小板減少時は輸血が必要になることもあります。